

# 志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校の改築基本設計の策定について【説明資料】

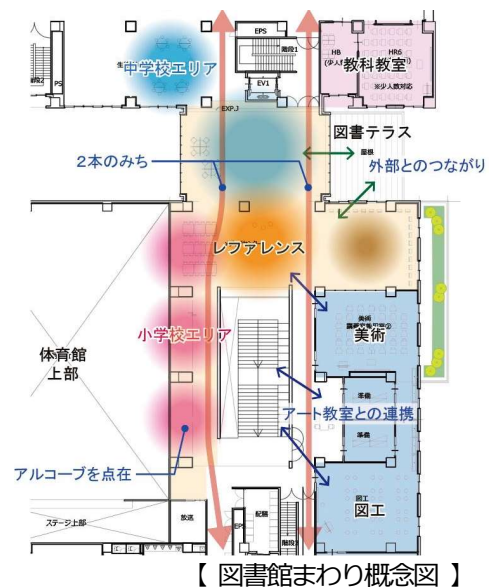
「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校である志村小学校については、現在地での改築が困難であることから、小中一貫教育推進の視点を取り入れ、志村小学校と志村第四中学校を施設一体の小中一貫型の学校として、志村第四中学校の敷地に整備を進めていくこととなった。

整備事業を進める上での基本的な考え方や指針を示した基本構想・基本計画を令和4年7月に策定し、その後、委託事業者の協力を受け、設計を進めていた。この度、基本設計図書をまとめたので報告する。

## 1 設計コンセプト ～基本設計図書 P.2～

### 1 小中をつなぐ「本の森」学校図書館

- 小学校と中学校の間全体が学校図書館  
学校と図書館を2本のみちでつなぐ
- いつでも本に触れるオープンな図書館  
様々な本との出会いの場を工夫
- 教科との連携、移動書架でのサービス  
「絵本のまち板橋」としてアート系教室と連携



### 2 インクルーシブ教育への展開

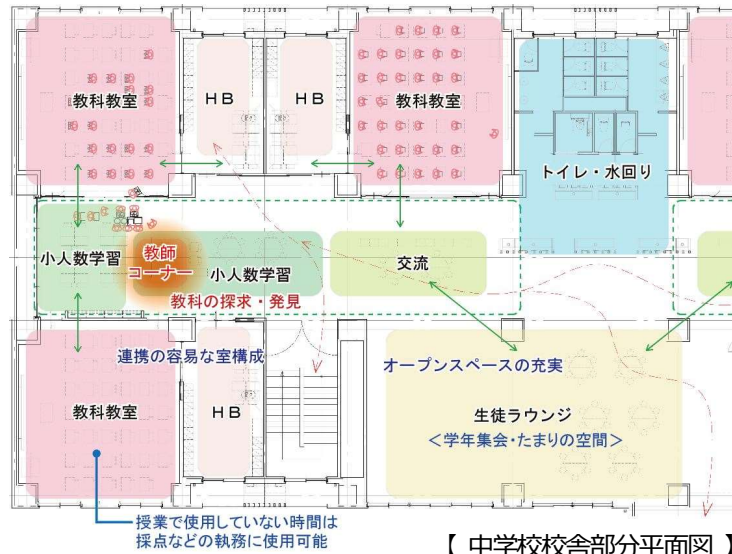
- 異学年や地域とつながる特別支援学級の配置  
ものづくりや運動を通じての交流
- 情緒障害に配慮した「静と動」のゾーニング  
音に配慮した落ち着いた環境づくり
- オールジェンダーに配慮したトイレ  
男女共用個室トイレを複数設置

### 3 「主体的な学び」を育む教育空間

- 教科センター  
を進化させた中学校舎
- 学年ごとの  
オープンスペースの充実
- 各学年や教科ごと  
に教師コーナーを配置



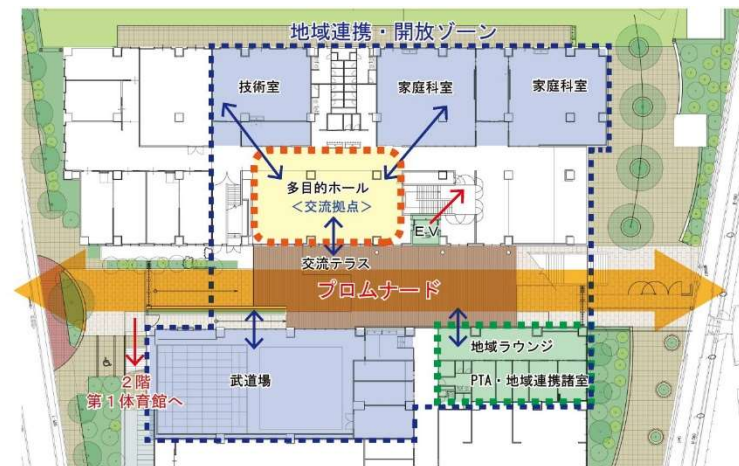
【生徒ラウンジイメージ】



【中学校校舎部分平面図】

### 4 「地域連携・地域防災」の拠点となるプロムナード

- 地域ラウンジ、特別教室を  
配置した地域開放施設の充実
- 中学生、小学生、地域の交流  
ができる日常のふれあいの場
- 2階体育館に階段・EVでアクセ  
スでき、防災時の拠点とな  
る安心できる避難所



【プロムナード概念図】

### 5 教職員の活動場所の充実

- 教職員の2つの拠点「職員室」と「教師コーナー」を設置
- 職員室のフリーアドレス化による執務空間と交流空間の充実
- 相談、執務、教材作成などが行える教科教室に近接した「教師コーナー」

### 6 ZEB化と環境教育を両立した校舎

- ZEB化を実現する高断熱、低負荷の建築空間
- 配管ロスを極小化した屋内外の機器配置
- 分かりやすく自然に学べる環境教育の実現

## 1) 計画規模

	校舎棟	
高さ	約 24.3m	
階数	5	
耐火性能	耐火構造	
構造種別	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造	
基礎	既成コンクリート杭	
敷地面積	13,833 m <sup>2</sup>	
建築面積 / 建ぺい率	4,685 m <sup>2</sup>	34.16%
床面積 / 容積率	17,804 m <sup>2</sup>	129.83%

※今後の検討等により、数値に変更が生じる可能性があります。



【配置ゾーニング概念】

## 2) 配置計画の考え方

考え方1：通学の安全性や敷地の有効活用に配慮した建物計画

- 敷地中央に校舎、北側にグラウンド、南側に広場を配置
- 日常的な給食搬入や来客用の車両動線は西側道路側からとし、歩車分離  
※災害時やイベント開催時は、グラウンドや広場への乗入れが可能

考え方2：「地域連携／地域防災」の拠点となるプロムナード

- 敷地西側と東側をつなぐ「プロムナード」
- 交流テラスや多目的スペースを設け、子どもや地域の活動、災害時にも利用
- ダンスやスタジオなどの利用もできる武道場や、ものづくりの拠点として地域利用も可能な家庭科室、技術室と隣接

考え方3：「地域の魅力」を高める環境整備

- 出井川緑道、敷地西側の並木道、プロムナードを緑の景観でつなぐ計画
- 周辺住宅に調和する低層型ボリューム



【配置図兼1階平面図】

ゾーニング計画の考え方

考え方1 小中をつなぐ「本の森」  
学校図書館

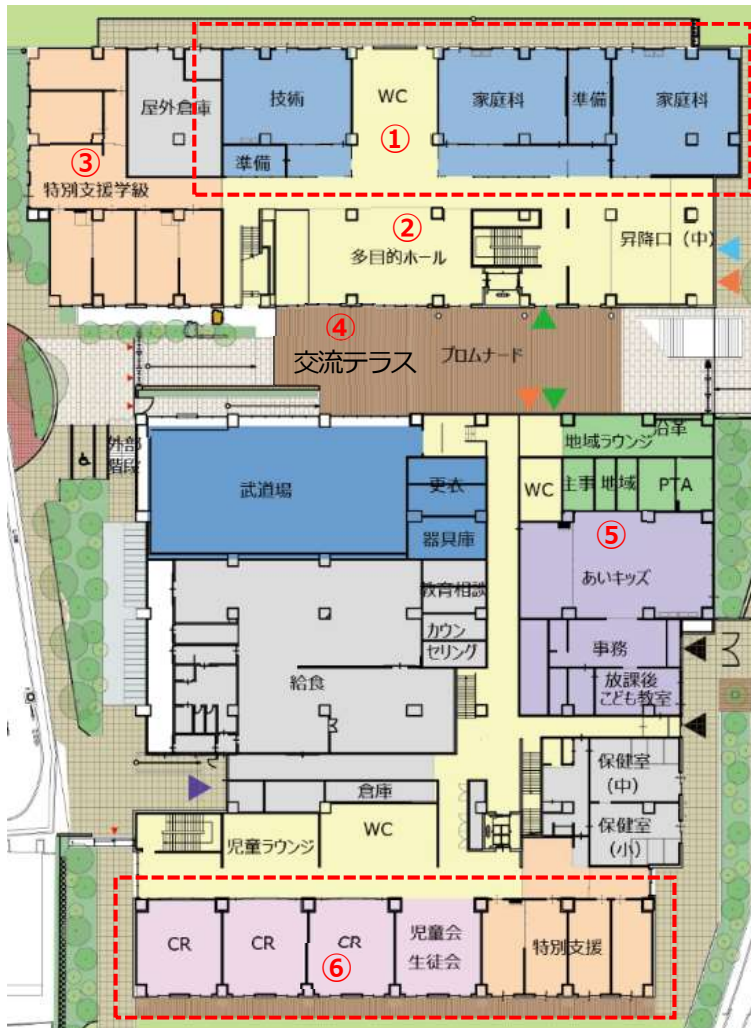
- 校舎中央部にメディアセンターを配置
- 小中をつなぐ部分全体が本に触れられる空間

考え方2：インクルーシブ/ジェンダーへの配慮

- 異学年や地域とつながる1階に特別支援学級（固定）を配置
- オールジェンダーに配慮したトイレ

考え方3：「主体的な学び」を育む教育空間

- 学年や教科のまとまりへの配慮
- 学年や教科ごとのオープンスペースの充実



【1階平面図】

■凡例

- |       |                |
|-------|----------------|
| 共用部   | あいキッズ/放課後子ども教室 |
| 児童エリア | 特別支援教室         |
| 生徒エリア | 地域ゾーン          |
| 特別教室  | 管理ゾーン          |

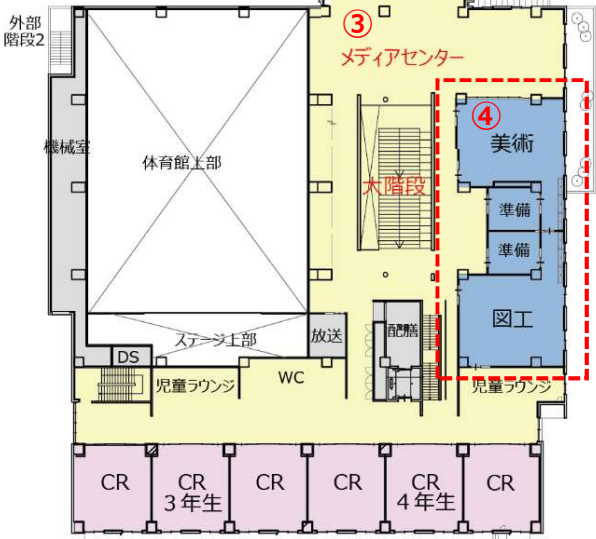
各階平面

[1階]

- ①【家庭科/技術室】  
「つくる」教科ゾーンを形成
- ②【多目的ホール】  
地域や学びのエリアの児童生徒との交流スペース
- ③【特別支援学級（固定）】  
つくることやスポーツ活動を通して交流を図りやすい計画
- ④【交流テラス】  
児童生徒の活動時はゲートを閉じて安全を確保できる計画
- ⑤【あいキッズ】  
森の広場や体育館、交流テラスにアクセスしやすい計画
- ⑥【1年生、特別支援学級（固定）】  
森の広場に上足で直接外へ出られ、また保健室に隣接



【2階平面図】



【3階平面図】

- [ 2階 ]
- ① 【国語/社会】  
日本を知る教科ゾーンを形成
  - ② 【職員室】  
地域や児童生徒との交流スペースを計画
  - ③ 【第1体育館】  
地域開放や災害時の避難所利用を想定  
式典利用できるステージを設置
  - ④ 【特別支援教室】  
校務センターと近接した位置に計画

- 凡例
- : 共用部
  - : 児童エリア
  - : 生徒エリア
  - : 特別教室
  - : あいキッズ/放課後子ども教室
  - : 特別支援教室
  - : 地域ゾーン
  - : 管理ゾーン

- [ 3階 ]
- ① 【英語/社会】  
世界を知る教科ゾーンを形成
  - ② 【社会とメディアセンター】  
調べ学習の多い社会とメディアセンターを近接
  - ③ 【メディアセンター】  
児童生徒の移動の中心に配置  
いつでも本に触れるオープンな図書館
  - ④ 【美術/図工】  
メディアセンターに隣接したアートスタジオとなる美術室、図工室を配置



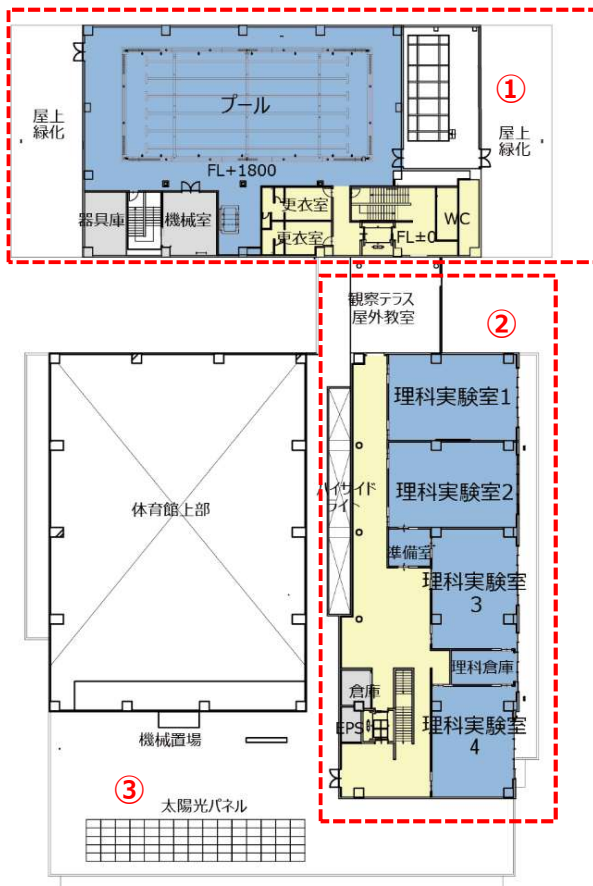
【4階平面図】

[ 4階 ]

- ①【数学/理科】  
科学を知る教科ゾーンを形成
- ②【音楽室】  
音に配慮し、アリーナに併設
- ③【第2体育館】  
中学生利用を想定したアリーナを計画
- ④【5, 6, 7年生】  
同一階にまとめ、中一ギャップを軽減

■凡例

- : 共用部
- : 児童エリア
- : 生徒エリア
- : 特別教室
- : あいキッズ/放課後子ども教室
- : 特別支援教室
- : 地域ゾーン
- : 管理ゾーン



【5階平面図】

[ 5階 ]

- ①【屋内プール】  
周囲からの視線に配慮  
小中にて利用を可能とする計画
- ②【理科実験室】  
屋外に観察テラス（屋根付）を設置
- ③【太陽光パネル】  
発電容量 30kw

立面計画の考え方

環境配慮【ZEB】 + 街並み形成【近隣】

考え方1：【ZEB】絞られた開口+日射抑制

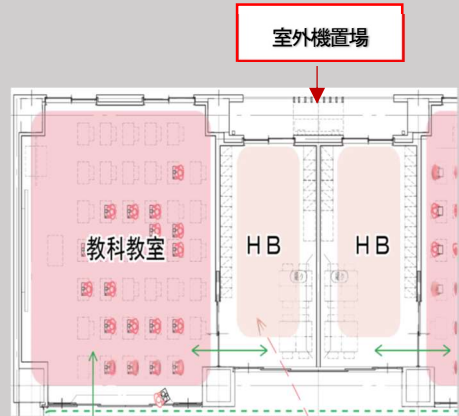
- 日射抑制
- 断熱性向上

考え方2：【ZEB】室外機を教室近くに設置

- 配管ロスによる ZEB 化

考え方3：【近隣】小さく見せるデザイン

- 近隣住宅地への圧迫感を抑える
- ボリュームを分節化するデザイン



【北西面】

北面

- 教室間にバルコニー設置
- 室外機目隠し  
⇒ルーバー+壁面緑化



【東面】

西面

- 近隣住宅配慮 開口部 少
- ボリュームを分節するデザイン

東面

- 緑道と一体的になる 緑のデザイン
- 緑のカーテンを設置
- 地域ゾーンは、ガラススクリーンとし、活動の見える化



【南東面】

南面

- 教室前に室外機置場 兼用の庇
- 室外機目隠し⇒ルーバー



年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
工事		← 改築工事・プール解体工事 →		← 既存校舎解体工事 →		← 環境整備工事 →
中学校	着工▶	既存校舎利用	引越	新校舎利用		◀ 工事完了
小学校			既存校舎利用	R9年度以降引越		
屋外施設	← 校庭使用不可 →		← 南側広場使用可 →			